

# 第 10 章

電気・ガス・上下水道

## 第 10 章 電気・ガス・上下水道

### 電気

平成 17 年度における電灯需要の契約口数をみると、495 万 6888 口にのぼり、前年度の 490 万 0078 口に比べ 1.2%(5 万 6810 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 425 万 7174 口(前年度比 1.0%増)となっている。また、使用電力量は 204 億 3385MWh で、前年度に比べ 3.6%の増加となり、1 口当たりの年間使用量は 4122kWh(前年度比 2.4%増)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 45 万 3387 口で、前年度に比べ 11.9%の減少となった。使用電力量は 30 億 2931 万 kWh となっている。

### ガス

平成 17 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 60 億 6152 万 m<sup>3</sup> で、前年度の 58 億 5068 万 m<sup>3</sup> に比べ 3.6%の増加となった。

また、消費量は 42 億 9183 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 2.6%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 20 億 3933 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.6%の増加となり、商業用が 6 億 3386 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 1.7%の増加、公用が 1 億 8089 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 3.7%の増加、医療用が 1 億 6663 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 7.7%の増加となり、家庭用が 12 億 7111 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 3.7%の増加となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 382 万 8530 戸で、前年度に比べ 0.8%の増加となっている。

### 上下水道

・ 上水道 平成 17 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 12 億 5774 万 m<sup>3</sup> で、前年度に比べ 0.3%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 8493 万 m<sup>3</sup> で、全体の 38.6%を占めている。

栓数は 312 万 7440 件で、前年度に比べ 1.1%の増加となっている。

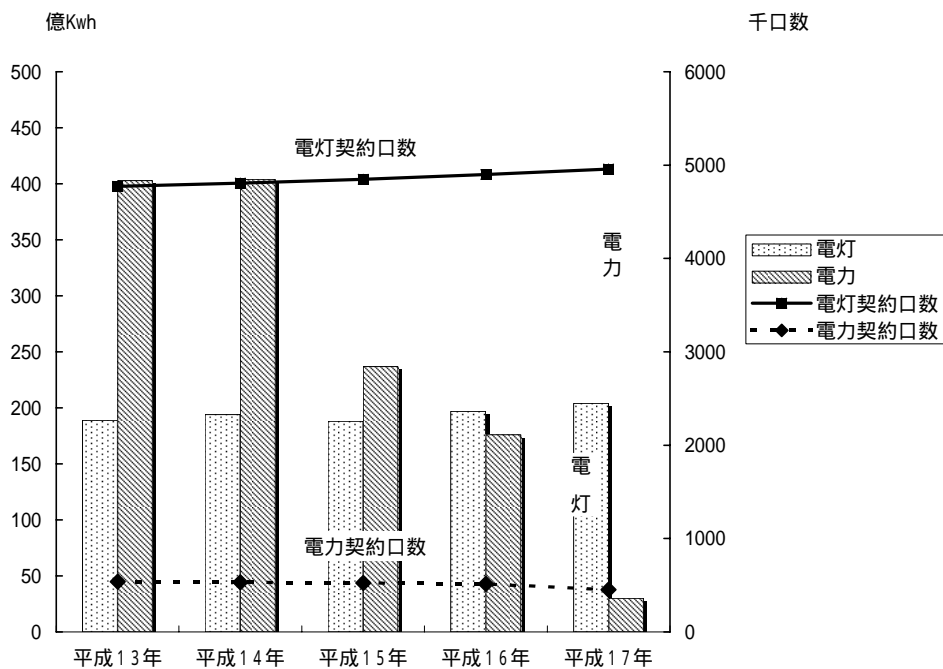
また、1 人 1 日平均給水量は 347 で、前年度に比べ 0.3%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 497 で、以下、泉佐野市の 442 、岬町の 402 の順となっている。

工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 27.3%減の 583 万 9948 m<sup>3</sup> となっている。

このうち、淡水の使用量は 526 万 9654 m<sup>3</sup> で、前年に比べ 28.4%の減少となっており、全体の 90.2%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 86.9%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 37.1%、化学が 28.8%、鉄鋼が 23.2%と、この 3 業種で回収水全体の 8 割以上を占めている。

・ 下水道 府内における平成 17 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 90.8%で、前年度より 0.7 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 99.9%で、ほぼ全域に普及している。

### 使用電力量・契約口数の推移



### 地域別都市ガス消費量の構成比 (平成17年度)

